

## 5. 教育課程の編成における教育目標と学校行事の目標との関連づけについて

### (1) 問題点

『教育課程の編成にあたって、特別活動の目標に学校の教育目標との関連を考えていますか』という設問(N=314人)に対して「考えている」という回答が99%を超えている。このことは、ほとんどの教員が、特別活動の目標と教育目標とを関連させる必要性を認めていることを示している。

しかし、「十分考えている」と回答したのは、約50%となっており実際には特別活動の目標と教育目標との関連づけが十分であるとは言えない実情にある。

また、特別活動の指導と教育目標との関連を見た場合、設問『特別活動の指導で、その内容に学校の教育目標を関連づけて考えていますか』に対して、「特別活動の全内容で考えている」と回答したものが約47%であるが、これに対し「学校行事で考えている」と回答したものが約3%と最低の回答率であり、教育目標と学校行事の目標との関連づけが極めて薄い実情にある。

### (2) 基本的な考え方

教育課程の編成に際し、教育目標と学校行事の目標との関連づけを図る上で、基本におさえるべきこととしては次の事項が挙げられよう。

- ① 教育目標を「行動目標」や「学年の目標」などのように具体化する。
- ② 学習指導要領の「学校行事」の「目標」及びその「内容」をおさえる。
- ③ ②の目標や内容を各学年におろし、学年で実施する学校行事の「ねらい」内容、方法を具体化する。その際に、具体化された教育目標(①の「行動目標」や「学年の目標」)の達成を志向して学校行事の「ねらい、内容、方法」の具体化を進め、「教育目標」と「学校行事の目標」との関連を図る。
- ④ 学校行事の目標を達成するための具体的な行事内容を精選する。内容精選の要件としては、次の2点が挙げられる。

ア、児童生徒、学校、地域(文化や産業など)の実態をふまえた内容であること。

イ、実践可能性、目標達成可能性のある内容であること。

### (3) 教育目標と特別活動「学校行事」の目標とを関連づけた例

#### ① 教育目標と特別活動の目標との関連

教育目標	重点目標	具体目標	特別活動の学年別重点目標
1. 自ら考え工夫できる子供 ・知性の開発 ・基礎的基本的事項の定着	(1) 相手の話をよく聞き、自分の考えを述べることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦話をよく聞く子供</li> <li>◦よく考える子供</li> <li>◦自分の考えを言える子供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 意見を出し合い、お互いの考えを認め合っ て計画し、実践できる。(3・4年)</li> <li>b. 能力や適性を生かして、計画や運営に積 極的に参加し、実践できる。(5・6年)</li> </ul>
2. きまりを守り、力を合わせる子供 ・善悪の判断力の育成 ・思いやりの心情の育成	(2) 創意工夫して問題解決にあたることができる  (1) みんなと力を合わせて生活できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦きまりを守る子供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>c. 分担し、協力して仕事をやりとげること ができる。(1・2年)</li> <li>d. きまりを守ることができる。(1・2年)</li> <li>e. 学級での集団活動に喜んで参加すると ともに、集団への所属感が味える。(1・2年)</li> <li>f. 協力し合い、責任をもって自主的に実践 活動を進めることができる。(3・4年)</li> </ul>